

保育園とは

保護者が働いたり、病気などのため、家庭で乳幼児の保育をできないときに、保護者に代わり保育する児童福祉施設です。

目黒区の保育目標

保育園の生活のなかで、健康で明るい豊かな人間性を持った子どもの育成を目指します。

大切にしていること

- * 一人ひとりを大切に生きる力を育てます。
- * 仲間のなかで、遊びの楽しさを共感できる子どもに育てます。
- * 自然とのふれあいを大切に、豊かな心を育てます。
- * 子どもがいつでも思いや願いを表明でき、保育者がそれに応えるなかで人間への信頼感を育てます。



0歳 1歳 2歳児の保育

0歳児の姿

- ・食べる、寝る、遊ぶなど担当と関わりながら一人ひとりのリズムが安定します。
- ・あやしてもらおうと喜び、自分のしてほしいことを指差しや身振り、なんごなどで伝えようとします。(なんごとは乳児のまだ言葉にならない発声)
- ・座る、はう、立つ、つたい歩きといった運動機能が発達し、探索活動が活発になります。

保育の中で大切にしたいこと

- ・保護者と連携をとりながら一人ひとりが安心、安定した生活がおくれるようにします。
- ・大人にあやしてもらい心地よい関わりの中で、興味や好奇心の芽を育てます。
- ・一人ひとりの発達や興味に応じた玩具や環境を整え、楽しく遊びながら感覚を育てていきます。

1歳児の姿

- ・「だめ」「いやいや」など自己を主張したり身の回りのことに興味、関心を持ち「自分で」となんでもやりたがります。
- ・友だちのしていることに関心を持ち、そばにいき関わろうとします。
- ・歩行が安定して、探索活動が活発になり遊びへの興味、関心が広がります。

保育の中で大切にしたいこと

- ・子どもの「自分で」の気持ちを受け止めながら、意欲を大切にし、できたという満足感を味わえるようにしていきます。
- ・子どもの気持ちを受けとめ言葉にして関わり、援助をしていきます。
- ・大人と一緒に身体を動かしたり、探索活動を楽しみ、好きな遊びができるようにしていきます。

2歳児の姿

- ・大人の手助けを受けながら身の回りのことを自分でしようとします。
- ・けんかもありますが、大人の援助を受けながら相手の気持ちが少しずつわかるようになります。
- ・体験したことを大人と一緒に再現してごっこ遊びも楽しめます。
- ・歩く、走る、跳ぶなど身体を動かして遊びます。

保育の中で大切にしたいこと

- ・毎日の繰り返しの中で、基本的な生活習慣が身につくようにしていきます。
- ・自己主張したり、反発したりする姿もありますが、気持ちを受け止め、仲立ちして関わり方を知らせていきます。
- ・全身を使って遊ぶことをたくさん経験できるようにしながら、基本的な運動機能を育てていきます。

3歳 4歳 5歳児の保育



3歳児の姿

- ・基本的な運動能力が育ちます。
(けんけん、ジャンプなど)
- ・友だちや身近な人と関わり、一緒に楽しく遊びます。
- ・食事、トイレ、着替えなどほぼ自分でできるようになります。

保育の中で大切にしたいこと

- ・様々な動作や運動など、楽しく体を動かす経験を取り入れます。
- ・ケンカのはきは、互いの気持ちを受け止めながら、友だちとの関わりを仲立ちします。
- ・自分でやろうとする気持ちを大切に、助けながら自立に向けて援助します。

4歳児の姿

- ・全身のバランスが良くなり、身体の動きが巧みになります。
- ・自分を十分に発揮し友だちと協調して生活していく中で、友だちとのつながりが深くなります。
- ・想像力が豊かになり、イメージを膨らませながら自由に表現できるようになります。

保育の中で大切にしたいこと

- ・いろいろな運動遊びを経験しながら、思い切り身体を動かす活動を取り入れます。
- ・様々な経験を通して満足感や自信を育て、友だちとお互いの主張を認め合える関係を作ります。
- ・子どもの好奇心や気づきを大切に、発見や考えたりする体験を積み重ね、豊かな感性や表現力を育てていきます。

5歳児の姿

- ・ルールのあるダイナミックな集団遊びが楽しめるようになります。
- ・人と関わる力を身につけ、命の大切さに気づいて自分や人を大切にします。
- ・自然事象や社会事象、文字などの関心が深まり、自立心が高まります。

保育の中で大切にしたいこと

- ・感じたことや考えを言葉で表現できる機会を作り、話す力、聞く力やその態度を育てます。
- ・みんなで喜んだり、考える関係を築き、相手を思いやる気持ちと主体的に取り組む気持ちを育てます。
- ・いろいろな活動や経験を通して知的な好奇心が満たされるように導きます。